

ユネスコスクールのまち おおむた



世界文化遺産登録2周年記念集会

7月10日（月）、宮原坑において、駛馬南小と駛馬北小の全校児童が参加し「世界文化遺産登録2周年&市制100周年記念集会」が開催されました。



この日は、甲斐副市長やたくさんの保護者、地域の方々も参加されました。両校の児童が、宮原坑や三池炭鉱関連資産の素晴らしさを発信し、大切に受け継いでいくことや大牟田を盛り上げ、発展させていこうという思いを力強くスピーチしました。

また、各市立学校においても、記念集会や記念活動が行われました。

大正小学校は、中尾市長とともに、大牟田をアピールする手作り号外新聞を大牟田駅で配布しました。

大牟田中央小学校は、大牟田駅前の清掃活動を行いました。



大正小学校



大牟田中央小学校

ふるさとを大切にする心もち、地域のため、大牟田のために自分にできることから取り組める人に育ってほしいと思います。



大牟田駅に
花を設置
(大正小)

ユネスコスクールってなんですか？

ユネスコスクールは、平和や国際的な連携を实践する学校として、ユネスコが認めた学校です。現在、世界182の国・地域で10,000校以上のユネスコスクールがあります。国内の加盟校数は、申請中の学校を含め1037校です。（平成29年5月現在）

文部科学省及び日本ユネスコ国内委員会では、ユネスコスクールをESDの推進拠点と位置付けています。

大牟田市立の小・中・特別支援学校のすべてが、平成24年1月17日にユネスコスクールに加盟しました。当時、一つの自治体が設置するすべての学校が、一斉にユネスコスクールに加盟することは大変めずらしく、ユネスコの関係者からは「ユネスコスクールのまち大牟田」と呼ばれました。

大牟田市のすべての市立学校は、「ESD」（持続可能な開発のための教育）を行っています。